

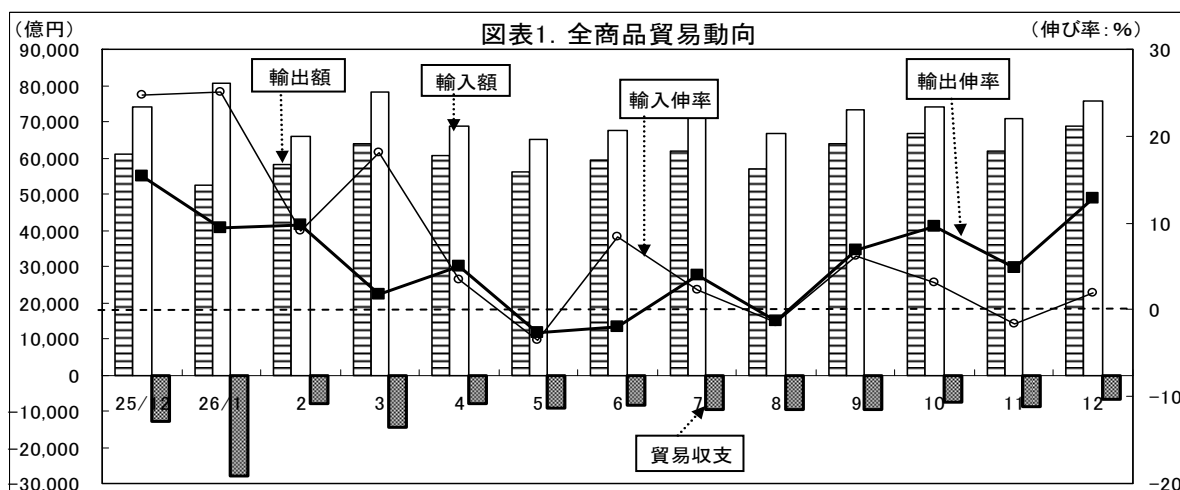
最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出伸び率4ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.2.18.

平成26年12月の機械輸出額は4兆4,003億円、対前年同月比12.0%増と4ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①円安が進んだこと、②6地域向け全てがプラスとなったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車をはじめ、産業機械、電子デバイス等が大きくプラスになったことなどによる。為替要因が9.0%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.8%増と3ヶ月連続でプラスとなった。2015年1月は為替や春節の影響を考慮すると8.9%の増加要因となり、仮に12月の機械輸出額の実質的伸び(2.8%増)が続くとすれば、前年比11.9%増と予想されたが、2月6日発表の貿易統計速報によれば1月上旬中旬の全商品輸出は14.8%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は4ヶ月連続でプラス、輸入も2ヶ月ぶりのプラス、貿易収支は半減～

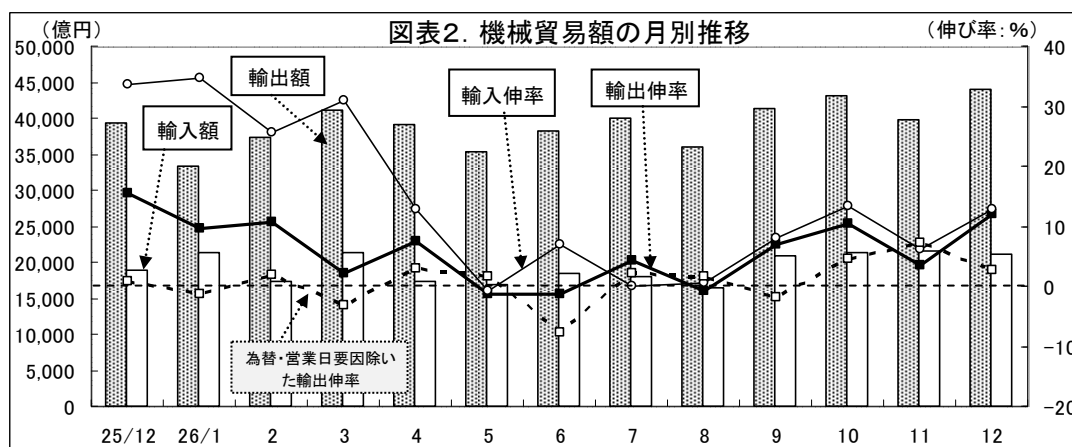
- 平成26年12月の全商品輸出額は**6兆8,931億円**、前年同月比(以下同じ)**12.8%増**と4ヶ月連続でプラス成長となった(11月4.9%増)。これは、全輸出額の約22%を占める輸送用機器(10.9%増)、20%の一般機械(11.4%増)、17%の電気機器(13.9%増)等が大きく増加したためである。
- 輸入額は**7兆5,583億円**、**1.9%増**と2ヶ月ぶりにプラスとなった(11月1.6%減)。全輸入額の約14%を占める電気機器(14.5%増)、4%の輸送用機器(15.7%増)等が増加したものの、32%を占める原油油等鉱物性燃料(10.6%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は6,652億円の赤字となり、輸出が輸入に比べて大幅に増加したため、昨年12月に比べて赤字幅が半減した(昨年12月は1兆3,072億円)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出入ともにプラスなり、伸び率も大きく伸長～

- 全商品輸出額の約64%を占める12月の機械輸出額は**4兆4,003億円**、**12.0%増**と4ヶ月連続でプラス成長となり(11月3.4%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2007年12月)と比べると**86.0%**となり、前月に比べて7.0ポイント改善した(11月79.0%)。
- 一方、全商品輸入額の約28%を占める機械輸入額は、**2兆1,217億円**、**12.6%増**と5ヶ月連続でプラスとなり(11月6.0%増)、リーマンショック前(2007年12月)の水準と比較しても26.8%増となっている。

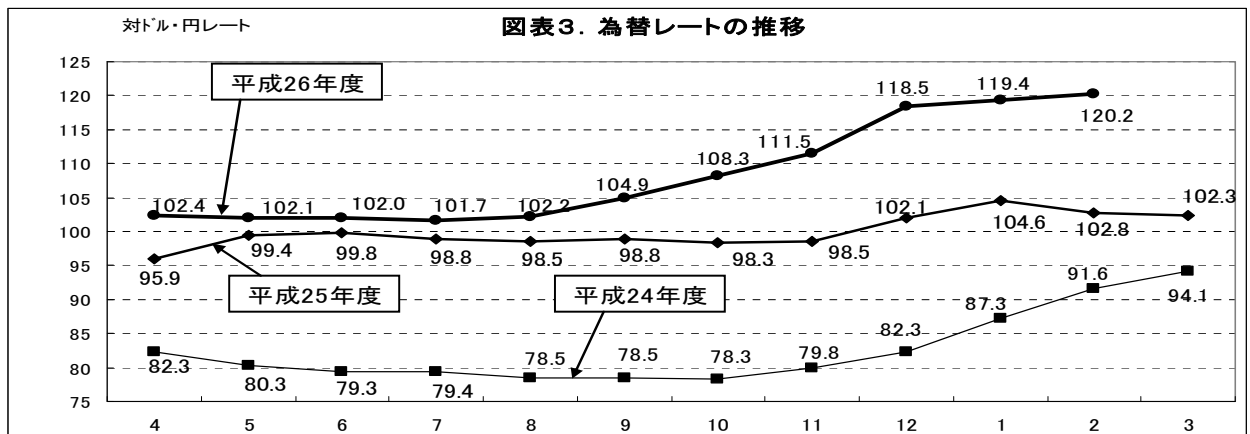


(2) 為替動向・営業日～12月は9.0%の増加要因、2015年1月は約7.6%の増加要因～

1) 12月は1ドル=118.5円と円安が進み、前年に対して16.1%の円安となった。また、対ユーロも147.3円と前年に対して6.3%の円安となり、合わせて約9.0%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約9.0%の増加要因となった。12月の輸出額は12.0%増であったことから、実質的伸び率は2.8%増と3ヶ月連続でプラスとなったが、前月よりやや鈍化している(11月7.2%増)。

2) 2015年1月は1ドル=119.4円で前年比14.1%の円安となり、対ユーロでは143.3円で前年比0.3%の円安となって、合わせて約7.6%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて1日多く、1.2%の増加要因となり、合計で約8.9%の増加要因となる。

3) 2015年2月は、対ドルが2月12日17:00時点の120.2円とすれば、前年に比べて16.9%の円安、また、対ユーロは136.2円で2.6%の円高となり、合わせると約8.9%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じであるが、春節により中華圏の営業日が前年に比べて1日少なく1.4%の減少要因となり、合計で約7.4%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～全地域向けでプラス、北米、ASEAN・南アジア向け等で二桁増～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①機械輸出額の26.4%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の51%を占める自動車(21.9%増)をはじめ、産業機械(20.1%増)、航空機部品(31.1%増)、建設機械(35.1%増)等が大幅に増加して21.9%増となった。②次は、15.3%を占めるASEAN・南アジア向けで、ベトナム(64.3%増)、パキスタン(34.1%増)、フィリピン(30.0%増)、インド(26.2%増)等が大幅に増加し、業種では、全体の25%を占める自動車(14.8%増)に加え、電子デバイス(20.4%増)、配電機器等軽電気機械(15.7%増)等が増加して14.0%増となり、③9.4%の韓国・台湾向けは、半導体製造装置等産業機械(14.8%増)、電子デバイス(10.2%)、重電気機械(12.7%増)等が増加して12.2%増となった。④16.4%を占めるその他地域向けは、中近東(27.9%増)、中南米(18.2%増)、アフリカ(15.8%増)向けが増加し、機種では全体の61%を占める自動車(8.6%増)、産業機械(24.9%増)、建設機械(16.0%増)等が大幅に増加して11.5%増となり、⑤11.4%のEU向けでは、33%を占める自動車(5.5%増)をはじめ、産業機械(14.4%増)、理化学用機器等軽機械(15.8%増)等が増加して5.4%増となった。⑥21.2%の中国向けは、全体の16%を占める電子デバイス(22.6%増)、11%の光学機械(19.9%増)、重電気機械(19.0%増)等が伸びて4.2%増となった。

3) また、リーマンショック前の2007年12月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超えたものの、北米向けが90%台、韓国・台湾向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/10			2014/11			2014/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	43,183	10.4	100.0	39,717	3.4	100	44,003	12.0	100.0	0.86
北米	10,591	8.8	24.5	10,039	2.3	25.3	11,603	21.9	26.4	0.91
中国	9,384	12.7	21.7	8,762	3.1	22.1	9,332	4.2	21.2	1.03
ASEAN・南アジア	6,468	12.4	15.0	6,092	4.4	15.3	6,711	14.0	15.3	1.03
EU	4,822	7.4	11.2	4,261	▲0.02	10.7	5,011	5.4	11.4	0.59
韓国・台湾	3,720	3.4	8.6	3,731	8.6	9.4	4,126	12.2	9.4	0.83
その他	8,198	13.9	19.0	6,832	4.2	17.2	7,221	11.5	16.4	0.76

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2014/9		2014/10		2014/11		2014/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,883	▲ 2.9	1,896	▲ 7.4	2,042	17.4	2,133	22.5
台湾	1,636	8.7	1,824	17.8	1,689	▲ 0.5	1,993	2.9
ASEAN・南アジア								
タイ	1,649	▲ 4.0	1,614	▲ 5.4	1,729	▲ 2.2	1,800	4.8
シンガポール	950	14.4	1,199	48.5	951	▲ 4.0	931	11.8
インドネシア	886	1.0	779	▲ 11.6	693	▲ 17.3	851	▲ 8.7
マレーシア	705	0.3	711	▲ 8.2	676	▲ 3.9	749	▲ 2.3
フィリピン	627	18.2	608	13.9	580	16.8	636	30.0
ベトナム	537	25.1	654	43.7	681	49.4	794	64.3
インド	401	1.9	491	45.8	408	29.0	472	26.2
パキスタン	103	28.5	109	27.6	95	13.5	145	34.1
その他地域								
中南米	2,540	4.6	2,655	8.0	1,984	1.4	2,344	18.2
中近東	2,325	32.6	2,249	28.2	2,186	19.4	2,451	27.9
大洋州	1,399	21.2	1,256	13.8	1,132	6.2	1,020	2.2
ロシア東欧等	1,341	2.4	1,157	▲ 18.0	856	▲ 17.9	812	▲ 23.4
アフリカ	854	6.6	867	44.2	693	▲ 1.4	676	15.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中マイナスは1業種、自動車・産業機械・電子デバイスは二桁の伸び～

1)業種別では、全21業種中繊維機械の1業種のみがマイナスとなり、前月より4業種減少した。業種では、全体の約35%を占める自動車(10.3%増)が2ヶ月ぶりにプラスとなり、18%の産業機械(11.8%増)が4ヶ月連続、8%の電子デバイス(18.1%増)が5ヶ月連続のプラスとなり、この他、軽機械(12.2%増)、光学機械(15.4%増)、工作機械(20.2%増)、航空機部品(25.6%増)、医療機械(23.9%増)、ベアリング(20.4%増)等の12業種が二桁の成長となった。

2)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、ベアリング、光学機械、軽機械、工作機械、医療機械、鉄道車両の7業種で、他方、民生用電子機械が40%台、電子計算機、産業車両、船舶、繊維機械が50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2014/10			2014/11			2014/12			対07/12比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	14,988	5.3	34.7	自動車	13,756	▲ 1.1	31.9	自動車	15,198	10.3	34.5	0.83
産業機械	6,885	8.9	15.9	産業機械	6,796	6.1	15.7	産業機械	7,836	11.8	17.8	0.98
電子デバイス	3,378	8.7	7.8	電子デバイス	3,292	14.9	7.6	電子デバイス	3,490	18.1	7.9	0.81
重電気機械	2,342	14.8	5.4	軽電気機械	1,999	1.9	4.6	軽電気機械	2,272	10.7	5.2	0.83
軽電気機械	2,262	11.8	5.2	重電気機械	1,994	7.0	4.6	重電気機械	2,230	13.5	5.1	0.999
船舶	1,912	49.0	4.4	光学機械	1,603	15.4	3.7	軽機械	1,764	12.2	4.0	1.22
民生用電子機械	1,731	▲ 2.9	4.0	軽機械	1,594	6.7	3.7	光学機械	1,758	15.4	4.0	1.30
軽機械	1,727	18.2	4.0	民生用電子機械	1,581	▲ 1.2	3.7	民生用電子機械	1,571	0.2	3.6	0.48
光学機械	1,570	13.2	3.6	建設機械	1,031	11.9	2.4	建設機械	1,276	19.8	2.9	0.82
建設機械	1,007	13.0	2.3	船舶	1,002	▲ 26.5	2.3	工作機械	984	20.2	2.2	1.14
工作機械	904	36.6	2.1	工作機械	828	22.0	1.9	船舶	914	5.5	2.1	0.56
航空機部品	792	28.5	1.8	航空機部品	686	11.8	1.6	航空機部品	762	25.6	1.7	2.21
通信機械	717	24.4	1.7	通信機械	633	19.4	1.5	通信機械	693	30.3	1.6	0.67
電子計算機	496	12.8	1.1	電子計算機	538	10.2	1.2	電子計算機	581	2.1	1.3	0.53
ベアリング	454	16.6	1.1	医療機械	470	19.1	1.1	医療機械	533	23.9	1.2	1.11
医療機械	438	22.5	1.0	ベアリング	414	6.8	1.0	ベアリング	466	20.4	1.1	1.31
陸用内燃機関	410	15.9	0.9	陸用内燃機関	354	7.7	0.8	陸用内燃機関	424	17.5	1.0	0.97
農業機械	190	14.8	0.4	農業機械	190	17.1	0.4	農業機械	215	25.1	0.5	0.89
繊維機械	178	▲ 22.0	0.4	繊維機械	176	▲ 25.6	0.4	繊維機械	165	▲ 29.8	0.4	0.57
産業車両	136	3.2	0.3	産業車両	126	2.3	0.3	産業車両	128	4.3	0.3	0.56
鉄道車両	54	47.7	0.1	鉄道車両	52	▲ 19.9	0.1	鉄道車両	100	3.6	0.2	1.01
21業種合計	42,571		98.6	21業種合計	39,117		90.6	21業種合計	43,357		98.5	0.86

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

- (5) 機種別動向～受信変換・その他送受信、電動機、通信機械部分品大幅増も、繊維機械等大幅減～
- 1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、ASEAN・南アジア、北米、その他地域向け**受信変換・その他送受信**(37.7%増)、②北米、中国向け**電動機**(35.5%増)、③中国向け**通信機械部分品**(32.2%増)、④ASEAN・南アジア、韓国・台湾、その他地域向け**原動力機械**(30.2%増)、⑤北米向け**航空機部品**(25.6%)、⑥北米向け**農業機械**(25.1%増)、⑦北米、EU、中国向け**医療機械**(23.9%増)、⑧中国、EU、北米向け**写真機の部分品・附属品**(22.2%増)、⑨北米、中国、ASEAN・南アジア、EU 向け**ベアリング**(20.4%増)、⑩ASEAN・南アジア、北米、中国向け**工作機械**(20.2%増)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(29.8%減)、デジカメ・ビデオ(18.2%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2014/10			2014/11			2014/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,912	49.0	通信機械部分品	335	40.1	受信変換その他送受信	148	37.7
鉄道車輛	54	47.7	電動機	162	24.3	電動機	163	35.5
工作機械	904	36.6	工作機械	828	22.0	通信機械部分品	340	32.2
通信機械部分品	379	36.5	医療機械	470	19.1	原動力機械	567	30.2
発電機	149	32.4	磁気カード・ディスク等	185	18.8	航空機部品	762	25.6
航空機部品	792	28.5	その他の光学機器	1,373	17.6	農業機械	215	25.1
理化学用機器	453	26.9	半導体製造装置	1,320	17.2	医療機械	533	23.9
貨物自動車	1,015	26.5	農業機械	190	17.1	写真機の部分品・附属品	152	22.2
電動機	176	25.4	理化学用機器	424	15.7	ベアリング	466	20.4
時計	115	25.3	TV	115	15.5	工作機械	984	20.2
機種合計	5,947	* 13.8%	機種合計	5,402	* 13.6%	機種合計	4,329	* 9.8%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2014/10			2014/11			2014/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	178	▲ 22.0	船舶	1,002	▲ 26.5	繊維機械	165	▲ 29.8
原動力機械	467	▲ 14.3	発電機	77	▲ 25.8	デジカメ・ビデオ	388	▲ 18.2
デジカメ・ビデオ	488	▲ 14.1	繊維機械	176	▲ 25.6	機種合計	552	* 1.3%
写真機の部分品・附属品	158	▲ 10.3	鉄道車輛	52	▲ 19.9			
機種合計	1,291	* 3.0%	デジカメ・ビデオ	450	▲ 13.6			
			機種合計	1,758	* 4.4%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～5ヶ月連続でプラス成長。電子デバイス、携帯電話等が増加～

- 1) 12月の機械輸入伸び率は12.6%増と5ヶ月連続でプラスとなった。電子計算機(2.6%減)がマイナスとなったものの、電子デバイス(14.9%増)、携帯電話(34.0%増)のほか、航空機・部品等(75.7%増)、その他の配電制御装置(17.5%増)、コンデンサー等部分品(13.3%増)等が二桁増加したことによる。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信、配電機器、TV、時計となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(6.6%増)、北米(47.9%増)、ASEAN・南アジア(17.8%増)、EU(0.8%減)、韓国・台湾(19.0%増)、その他地域(4.5%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2014/10				2014/11				2014/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,501	7.8	11.7	携帯電話	2,843	26.6	13.2	電子デバイス	2,448	14.9	11.5
携帯電話	2,493	45.1	11.7	電子デバイス	2,412	12.7	11.2	電子計算機	2,143	▲ 2.6	10.1
電子計算機	2,140	5.9	10.0	電子計算機	1,943	▲ 0.5	9.0	携帯電話	1,692	34.0	8.0
航空機・部品等	1,122	75.8	5.2	航空機・部品等	1,267	▲ 20.0	5.9	航空機・部品等	1,242	75.7	5.9
自動車部品	1,115	8.8	5.2	自動車部品	1,101	8.2	5.1	乗用車	1,107	▲ 7.2	5.2
乗用車	1,040	13.6	4.9	乗用車	1,024	11.2	4.8	自動車部品	1,067	6.4	5.0
白物家電	687	7.0	3.2	白物家電	701	▲ 3.8	3.3	白物家電	694	▲ 0.8	3.3
医療機械	648	2.3	3.0	医療機械	622	▲ 7.5	2.9	医療機械	658	2.2	3.1
受信変換その他送受信	548	▲ 0.2	2.6	受信変換その他送受信	548	4.7	2.5	受信変換その他送受信	581	3.1	2.7
配電機器	515	0.5	2.4	配電機器	528	▲ 0.5	2.5	配電機器	578	6.9	2.7
コンデンサー等部分品	414	2.7	1.9	その他の配電制御装置	407	22.4	1.9	その他の配電制御装置	408	17.5	1.9
その他の配電制御装置	401	18.3	1.9	コンデンサー等部分品	387	3.7	1.8	コンデンサー等部分品	406	13.3	1.9
12機種合計	13,624		63.7	12機種合計	13,783		64.1	12機種合計	13,024		61.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等